



2019年6月6日

各 位

会 社 名 株式会社ユビキタス AI コーポレーション
代表者名 代表取締役社長 長谷川 聡
(コード 3858、東証 JASDAQ)
問 合 せ 先
役職・氏名 執行役員管理本部長 辰馬 正崇
電 話 0 3 - 5 9 0 8 - 3 4 5 1

中期経営計画策定に関するお知らせ

株式会社ユビキタスAIコーポレーション（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：長谷川 聡）は、本年4月から3カ年にわたる中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）を策定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 概要

2016年6月に策定（2017年6月に修正）した前中期経営計画（2017年3月期～2019年3月期）に対しては、組込み分野への注力等「選択と集中」を実行する一方、M&A等により事業ポートフォリオの分散による安定した収益基盤の整備を進め、2期連続の営業黒字と8期ぶりの最終黒字を実現いたしました。

これに続く、本中期経営計画（2020年3月期～2022年3月期）の中期経営計画では、ソフトウェアプロダクト事業の高速起動製品や、ソフトウェアディストリビューション事業のソフトウェア品質解析ツール等、引き合いの多い製品、ツールの販売活動に注力することにより、収益拡大を実現しつつ、中長期におけるさらなる成長への足掛かりとして、IoTセキュリティソリューション、IoTセキュリティ検証サービス等の新規取り組み事業や、5G、CASE、IoT、Cloud、AI、Robotics等のテクノロジートレンドを意識した新製品の開発、新商材獲得を行ってまいります。

このような活動により、本中期経営計画最終年度の2022年3月期には、売上高2,740百万円、営業利益150百万円を、その翌年度の2023年3月期には、売上高3,000百万円、営業利益300百万円（売上高営業利益率10%）以上の達成を目指してまいります。

2020年3月期～22年3月期 中期経営目標

ユビキタスAIコーポレーショングループ 組込みソフトウェアNo.1ベンダーへ



※ 売上高（営業利益）
単位：百万円

2020年3月期
計画：2,419(10)

- 2021/3期以降の収益増実現のための施策実施（採用・商材獲得・研究開発）
- Edge Trust等新規取り組みのビジネス機会創出
- 事業間シナジー（組み合わせ提案、エンジニアリング連携、海外パートナーとの共同開発案件発掘）

2021年3月期
計画：2,550(30)

- 収益増を確実にするため、2020/3期からの施策継続による足場固め
- 2020/3期からの新規取り組みの売上貢献開始

2022年3月期
計画：2,740(150)

- 2020/3期から2021/3期の新規取り組みの利益貢献開始と、エイム社の、のれん償却終了に伴う営業黒字増
- 2023/3期に向けた事業展開の加速

2023年3月期
売上高3,000百万円
営業利益率10%以上
を目指す

テクノロジートレンドを意識した新製品開発・新商材獲得

5G

CASE

IoT

Cloud

AI

Robotics

2020/3期、2021/3期：収益の安定化と次の成長に向けた取り組み
2022/3期：新規取り組み事業の利益貢献

海外パートナーとの共同開発による短期間かつコストを押さえた製品投入

IoTセキュリティ検証サービス、「Edge Trust」等パートナー連携によるサービスの拡大

2020年3月期～22年3月期 中期経営目標

2022年3月期に売上高2,740百万円、営業利益150百万円を達成

- ・ 2020-21年3月期：収益の安定化と次の成長に向けた取り組み
- ・ 2022年3月期～：新規取り組み事業の利益貢献開始と拡大に向けた積極展開
- ・ 海外パートナー経由での自社製品販売の促進

中長期成長に向けた新規事業の立ち上げ

- ・ IoTセキュリティ分野における強みを活かし、パートナー連携によるサービス事業の事業収益化を目指す
- ・ 海外パートナーとの共同開発による短期間かつ開発コストを抑えた新製品投入

テクノロジートレンドに合致した新商材の投入による収益拡大

- ・ 5G、CASE、IoT、Cloud、AI、Robotics等のテクノロジートレンドに合致した新製品開発・新商材獲得による、収益機会の拡大を目指す

2. 各事業の取り組み

ソフトウェアプロダクト事業

2020年3月期より、自社開発製品に関するセグメントとして、従来のコネクティビティ&セキュリティ事業及び組込みソフトウェア事業を統合し、ソフトウェアプロダクト事業にセグメントを変更いたします。

当セグメントは、高速起動製品を収益の柱とした事業展開を進めてまいります。車載機器を中心にLinux/Android搭載機器向けに幅広く展開し、更なる高速化のための研究開発を行ってまいります。また、セキュアなIoTサービスを実現するためのソリューション「Edge Trust」といった提携先企業との協業によるサービスを含め、自動車・IoT分野を中心とした組込み機器向けネットワーク・セキュリティ関連製品の展開を推進してまいります。

加えて、ソフトウェアディストリビューション事業の海外パートナーとの連携による共同製品開発・海外での販売も進めてまいります。

以上により、当セグメントは、2022年3月期は2019年3月期とほぼ同水準の700百万円の売上高を目指してまいります。

ソフトウェアディストリビューション事業

当セグメントでは、ワイヤレス製品、BIOS製品等の既存顧客との取引を維持するとともに、海外組込みソフトウェア製品の取扱数の増加に伴う人員の採用を強化し、収益拡大につなげてまいります。

特に、ソフトウェア品質向上支援ツールの販売を強化し、ストック型の収益を拡大させてまいります。また、新たに、Beyond Security社と共同開発した検証ツール「beSTORM X」を利用した「IoTセキュリティ検証サービス」に取り組んで参ります。

加えて、海外パートナーとの共同製品開発による販売権の安定化と国内企業のニーズに合わせた製品化を進めてまいります。

以上により、当セグメントは、2022年3月期は、2019年3月期から約20%増の1,580百万円の売上高を目指してまいります。

ソフトウェアサービス事業

当セグメントでは、引き続き、車載機器メーカーを中心とした受託開発・音楽関連データコンテンツライセンスの取引を維持するとともに、Web・スマートデバイス向けから組込み機器向けまで幅広い範囲の開発案件対応により安定した顧客との取引を実現してまいります。また、グループ連携による受託開発案件の獲得も進めてまいります。

以上により、当セグメントは、2022年3月期は2019年3月期から約15%増の460百万円の売上高を目指してまいります。

中期事業計画 事業分野別目標

ソフトウェアプロダクト事業 (コネクティビティ&セキュリティ、 組込みソフトウェア製品)

2022年3月期 売上高 700百万円

- ・高速起動製品を収益の核とした事業展開、車載機器を中心にLinux/Android搭載機器向けに幅広く展開、更なる高速化
- ・自動車・IoT分野を中心とした組込み機器向けネットワーク・セキュリティ関連製品の展開を、協業によるサービス含めて推進
- ・ソフトウェアディストリビューション事業での海外パートナーとの連携による共同開発、海外での販売

ソフトウェアディストリビューション事業

2022年3月期 売上高 1,580百万円

- ・海外組込みソフトウェア製品取扱増のための採用強化、人員増により売上拡大
- ・開発品質向上支援ツールの取扱強化、サービスも含めたサブスクリプションモデルによる安定した売上の確保
- ・海外パートナーとの共同開発による安定した販売権の確保と日本のニーズに合わせた製品化

ソフトウェアサービス事業 (グループ企業：エイム社)

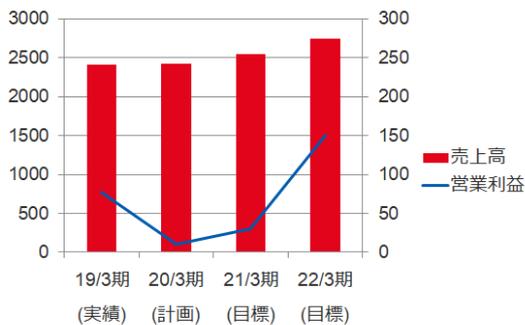
2022年3月期 売上高 460百万円

- ・車載機器メーカーを中心とした受託開発・音楽関連データコンテンツライセンス取引の継続
- ・Web・スマートデバイス向けから組込みまで幅広い範囲の対応により、安定した顧客との取引と、グループ連携による受託開発案件の獲得

組込みソフトウェアの高い技術開発力と、豊富な製品ラインアップ、テクノロジートレンドから売れる製品を獲得する目利きの方で、グループ全体で強気に推進

2022年3月期に連結売上高2,740百万円、営業利益150百万円
2023年3月期に売上高3,000百万円、営業利益率10%以上を目指す

数値目標 – 利益計画 (連結)

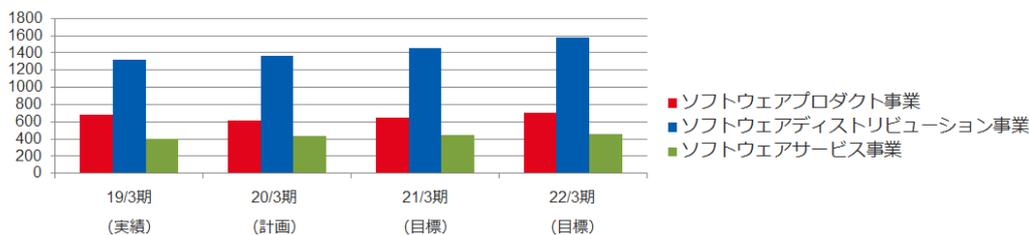


- ・2021/3期より増収傾向
- ・2021/3期 株式会社エイムののれん償却終了
- ・2022/3期 旧株式会社エーアイコーポレーションののれん償却終了

(単位：百万円)

	2019/3期 (実績)	2020/3期 (計画)	2021/3期 (目標)	2022/3期 (目標)
売上高	2,406	2,419	2,550	2,740
営業利益	77	10	30	150

数値目標 – セグメント別売上高内訳



(単位：百万円)

セグメント	分野	2019/3期 (実績)	2020/3期 (計画)	2021/3期 (目標)	2022/3期 (目標)
ソフトウェアプロダクト事業		684	615	650	700
ソフトウェアディストリビューション事業		1,319	1,369	1,450	1,580
ソフトウェアサービス事業		403	440	450	460
合計		2,406	2,419	2,550	2,740

当社は、組込みソフトウェアNo.1ベンダーを目指し、新たな中期経営計画期間を持続的な成長に向けた足場固め期間として位置付け、さらなる企業価値の向上のため取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注)

本資料は、現時点において入手可能な情報に基づき合理的に判断して作成したものでありますが、今後様々な要因によって変動する可能性があることをご承知おきください。